



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121

新年度を迎え、大人も子どもも次のステージに進む季節。「こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)」と「小林市キャリア教育支援センター」の広報紙「てなむ」(西諸弁で「一緒に」)をお届けします。

市内の小中学校では、学校と地域・事業所・各種団体などが一緒になって子どもたちの学びや成長を支えるさまざまな取組を行っています。それらは、参加した大人にとっての「学びや生きがい」にもなり、ひいては地域の活性化にもつながるものです。

2つのセンターでは、「てなむ」を通して児童生徒に関わる活動を紹介していきます。よろしくお願ひします。



2月・3月に、小学5年生と中学2年生を対象に、多くの学校で立志式が行われました。(学年は旧学年です)

三松中 立志式・記念講演



54名の2年生が座右の銘と共に、夢や目標を力強く発表しました。その後は、代表生徒による誓いの言葉。会場では、保護者と1年生が、一人ひとりの言葉に、熱心に耳を傾けていました。

記念講演は和田花織さん。横浜市出身で1年半前に宮崎に移住。(株)リクルートに勤務し、主にオンラインで仕事をしています。「主体的に生きることの大切さ」の演題で、宮崎に来た理由、今の仕事、中学と高校・大学時代のギャップ、中学生へ伝えたいことについてお話してくださいました。

西小林中 立志のつどい・記念講演



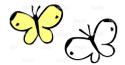
フリートーク「社会人に求められる能力とは」

選んだ漢字を手に、20名が「立志の誓い」を述べました。その後は、出席していた1年生とのフリートーク。「信頼」や「継続」、「コミュニケーション

能力」などの意見を出し合う姿を、保護者が近くで見守っていました。

講演は大角恭代さん(野尻町)。東京でのユニクロ勤務(店長など)を経てUターン。野菜ソムリエプロとして、食育や商品開発など、様々な活動をしています。「『好き』を大切に～自分らしき・個性を大切に生きよう」の演題で、これまでを振り返りながら中学生へメッセージを送ってくださいました。

栗須小 夢発表会



20名の夢と学習成果の発表会です。入学したばかりの頃と5年生の写真の紹介。「なりたい自分」と、これから努力することの発表。国語で学習した竹取物語や徒然草、漢詩など、8つの古典の朗読と群読。家族への感謝の言葉。器楽合奏「ルパン三世のテーマ」と、盛りだくさんの内容でした。

保護者や来賓の皆さんからは、発表が終わるたびに大きな拍手が送られていました。

小林小 卒業生に向けてのおはなし会



ペーパーサート「イギリスの紳士」

毎年行っている市立図書館と、読み聞かせグループ「くすの木文庫」の皆さんによるおはなし会。ブックトーク(本の紹介)に始まり、読み聞かせや大型パネルの紙芝居、ペーパーサート(紙人形劇)など、20名近くのスタッフが交替で演じてくださいました。教科書に

載った文章のタイトルを当てるクイズもあり、子どもたちは積極的に手を挙げて答えていました。

物語の一つひとつに聞き入ったり、大笑いしたり…。卒業前の最高のプレゼントになりました。

「くすの木文庫」は、学校での読み聞かせなど、これまでの活動が認められ、2月に県教育長表彰を受けました。

「協働の学校づくり」推進協議会

年2回開催



地域に根ざした特色ある教育活動についての会議です。9つの中学校区の代表と、中屋敷教育長をはじめ学校教育課と社会教育課の職員が出席しました。教育長のあいさつに続いて、各校区から地域の行事や学校の取組についての報告があり、その後、異なる校区とグループを作り、今後に向けての協議を行いました。



まとめの中で、宮崎大学の遠藤准教授(左)から、「社会の一員を育てる学校は、社会と一緒になければならないでしょう」とか「子どもが学校だけでなく社会の中で活躍できる場を設けてください」などの、助言をいただきました。

西小林小・幸ヶ丘小 薬物乱用防止教室



両校の5・6年生を対象に西小林小で実施しました。講師は松山文昭さん(学校薬剤師:小林こすもす薬局)、同じ薬剤師の弟さんが実験を担当しました。

内容は… 学校薬剤師の仕事・健康で丈夫な体をつくるには・くすりのルール・タバコとお酒・薬物を断る方法 などです。健康についてのクイズや薬をお茶で飲んではいけない理由が分かる実験もあり、とても丁寧に教えていただきました。

永久津小と永久津保育園の交流活動



入学を控えた4人の園児が小学校を訪問。1年生7人と交流を深めました。

互いに名前と好きなものを言って、お楽しみ会が始まりました。最初は学校紹介ク

イズ。「たしごんをならうのはさんすう、こくごのどっち？」など、1年生が交代で出す問題に、園児たちは元気よく手を挙げていました。

その後はペアになってのミニ探検。1年生が説明しながら、児童玄関や保健室を見て回り、最後はじゃんけんゲームで盛り上がりました。

【園児の感想】すごくいっぱいつけてくれていて、たのしかったです。

【1年生の感想】ばらぐみさんといっしょに、またたのしくあそびたいです。



こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



石川琢磨さん: (株)アディッシュプラス代表取締役。宮崎frogs代表理事

10年以上前に沖縄県で始まった人材育成プログラムの宮崎版「宮崎frogs」を4月に立ち上げる予定。さまざまな個人と企業の支援で、6か月間で、研修・事業計画(やりたいこと)の作成・プレゼンテーションを行います。

講演のテーマは「キャリア教育×人材育成」。学生時代や現在の仕事のこと、人材育成プログラムについてお話していただきました。その後、参加者はフリートークで交流を深めました。

【主な内容】 ◆ キャリア教育とは ◆ 未来を生き抜く非認知能力を育てる ◆ これから求められる人材育成 ◆ 大人ができること ◆ 地域の継続的な発展のために ◆ アントレプレナーシップ(企業家精神:創造力・想像力行動力など)をもった若手人材の育成など

沖縄県での人材育成プログラムに参加した高校生や大学生たちが、その後、さまざまな分野で活躍している様子も紹介され、大変興味深いものでした。また、「地域で人材を育成しても、自分の可能性にかけて都会に出る人は多い。『地域を見限って出る』よりも『地域に感謝して出る』人材を育てたい」という言葉が心に残りました。

石川さんの話を聞いて「プログラムに参加します」と宣言した高校1年の男子生徒もいて、大きな拍手を浴びていました。

キャリア教育トークセッションは、月に1度、TENAMUビル2階の交流スペースで開催。午後7:00~8:30

【交通安全教室で聞きました】学校や勤務先が変わる人が多い季節。当然、通学・通勤の経路も変わります。慣れない道を通ることによる交通事故が心配です。歩行者も車も、一旦停止や左右の確認を確実にお願いします。